

第2回 けいはんな 先端技術トップセミナー

定員**50**名
要申込み
入場無料

開催日 **2011年11月25日** 金
13:30~17:05

場 所 **けいはんなプラザ交流棟3階「ナイルB」**
京都府相楽郡精華町光台1-7

◆講演内容

13:30 ~ 13:40

開会の挨拶

奈良先端科学技術大学院大学・副学長 新名 惇彦 氏

13:45 ~ 14:45

「イネの開花制御と
フロリゲンの研究」



開花制御に必要な遺伝子の働きをイネを用いて解析し、短日植物と長日植物の開花は共通の遺伝子によって制御されているが、その機構が異なっていることを示した。

さらに、イネのHd3a遺伝子とGFPとの融合遺伝子を導入したイネを解析し、Hd3aタンパク質は葉で合成され、葉から茎の先端に移行する、花成ホルモン（フロリゲン）であることを証明した。この発見により70年以上その正体が謎であったフロリゲンの実体が明らかになった。

14:55 ~ 15:55

「植物生産力強化遺伝子の
探索とその応用の研究」



作物を含めて植物の生産力には、葉の光合成能力や根や穂での光合成産物の貯蔵能力などに多くの能力不足段階があることが、分かりつつある。本研究では、これらの能力不足段階の強化に資する複数遺伝子を野生種スイカなどに見出した。

ジャガイモにこれらの遺伝子を導入し、生産機能を評価した結果、葉の光合成が25~35%増強され、イモ重量は2~3.5倍に上昇した。本成果は、植物を利用した低炭素化社会構築に寄与すると期待される。

16:05 ~ 17:05

「双安定半導体レーザーと
光RAMの先駆的研究」



光信号のままルーティング処理を行うオールオプティカルネットワークの実現が期待されている。ルータには光信号の衝突防止のためのメモリ機能が不可欠である。発振モードが2つ存在する半導体レーザーでは普遍的に光双安定が生じ、その間で高速スイッチングが可能なることを見出した。光導波路の断面が正方形の面発光半導体レーザーは、これを実現できる理想的な素子であることを示し、世界に先駆けて光メモリ動作を実現した。

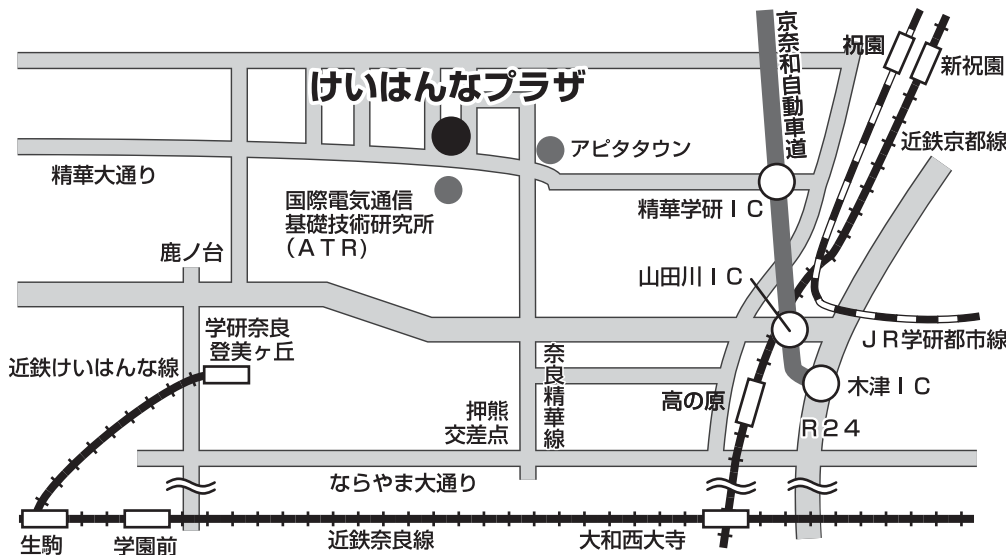
主
催

- 京都府
- 財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
- 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

お
問
合
せ

財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 事業推進部 担当: 播磨, 山口, 坂口
〒619-0237 けいはんな学研都市(精華町光台1丁目7)けいはんなプラザラボ棟3階
TEL: 0774-98-2230 FAX: 0774-98-2202 E-mail: topseminer@kri.or.jp

◆アクセス



▶乗用車をご利用の場合

当日は無料駐車券を配布いたします

大阪から

阪神高速13号東大阪線
→西石切ランプ→第二阪奈道路
→中町ランプ→学園前経由

京都から

国道1号・国道24号線→城陽I.C
→京奈和自動車道→精華学研I.C
→精華大通り

奈良から

ならやま大通り・奈良精華線

▶電車・バス・タクシーをご利用の場合

▶JR学研都市線 祝園駅 ▶近鉄京都線 新祝園駅

- ・タクシー (約10分)
- ・バス (約15分)
奈良交通バス41系統または47系統「学研奈良登美ヶ丘駅」行
もしくは36系統「光台循環」で「ATR」下車すぐ

▶近鉄けいはんな線 学研奈良登美ヶ丘駅

- ・タクシー (約10分)
- ・バス (約15分)
奈良交通バス41系統または47系統「祝園駅」行で
「けいはんなプラザ」下車すぐ

◆お申し込み方法

WEB
から

下記のURLよりお申し込みください。

<https://keihanna.biz/form/top2.html>
E-mail:topseminer@kri.or.jp

締め切り：11月18日

FAX

FAXお申し込み用紙にご記入の上、下記のFAX番号に送付ください。

0774-98-2202

◆FAXお申し込み用紙

ふりがな		ふりがな	
貴社名		参加者	
ご住所			
TEL		FAX	
部署		役職	
E-mail		業種	

<個人情報の取り扱いについて>

ご記入いただいた個人情報は、厳正に管理し、本事業における連絡・報告及び名簿作成の他、イベント案内に使用させていただきます。

ご本人の同意なく、第三者に開示・提供することはありません。